

一般廃棄物処理施設の整備促進に当たって、今後は災害対応の観点も含め、施設自体の耐水対策や停電時の廃棄物受入対応、充電設備の整備にも力点を置いて支援を行い、災害時のライフラインの確保及びエネルギーセンターとしての活用を図る。

## 循環型社会形成の推進

老朽化した廃棄物処理施設の適切な更新等を支援するとともに、**耐水対策**に力点を置いた施設の整備・更新を行うことで、防災対策を強化。

※補正予算（案）：460億円

## 災害時の廃棄物処理システムの強靱化

大規模災害時において**廃棄物の受入対応**など地域の災害対応拠点となり得る廃棄物処理施設の整備。

※補正予算（案）：13.2億円

## 地球温暖化対策の強化

廃棄物発電により生じた電力を利活用するための**充電設備**などの設置の支援を行い、災害対応機能を強化した「地域エネルギーセンター」を整備。

※補正予算（案）：10億円



- 廃棄物処理施設の整備を緊急に支援することで、災害時においても迅速な復旧・復興を可能にする。
- 廃棄物発電の有効活用により脱炭素化や災害時のレジリエンス強化等「気候変動×防災」に資する。